

豪雨に伴う通電火災対策の徹底について

豪雨により、今後、広範囲にわたる長時間停電の発生が懸念されるところで、停電からの再通電時において、電気機器又は電気配線からの火災（以下、「通電火災」という。）が発生するおそれがあります。

通電火災を防ぐため、下記①～④の火災予防上の留意事項を参考にいただき、通電火災対策の徹底について、ご理解ご協力をお願いいたします。

水害により停電が発生した場合の対応

- ① 停電中は電気機器のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから離脱すること。
- ② 停電中に自宅等を離れる際はブレーカーを落とすこと。
- ③ 再通電時には、漏水等により電気機器等が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから電気機器を使用すること。
- ④ 建物や電気機器に外見上の損傷がなくとも、壁内配線の損傷や電気機器内部の故障により、再通電から長時間経過した後、火災に至る場合があるため、煙の発生等の異常を発見した際は直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡すること。